

昭和43年4月1日発行
 第121号
 東頭城郡松代町公民館
 館長 富沢清次
 電話 松代6番
 印刷 松代印刷所

昭和四十三年度定例議会開かる

四十三年度予算など議決

去る三月六日より四日間にあたり、予算議会と称せられる定例町議会が開かれ、次の議題が提出され、原案どおり可決されました。

議第一号 昭和四十二年松代町一般会計補正予算(八一三七千円を追加)

議第二号 昭和四十二年松代町特別会計国民健康保険補正予算(第3号)

議第三号 固定資産評価員の選任

牧田栄一(松代町特)

議第四号 新潟県町村人事事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約変更について

議第五号 松代町統計調査条例の制定について

議第六号 松代町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議第七号 松代町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議第八号 松代町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議第九号 松代町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議第一〇号 松代町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議第一一号 松代町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議第一二号 松代町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

議第一三号 松代町土木事業費負担金条例の一部を改正する条例の制定について

議第一四号 松代町農業共済条例の一部を改正する条例の制定について

議第一五号 松代町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

議第一六号 昭和四三年松代町一般会計才入才出予算

議第一七号 昭和四三年松代町特別会計国民健康保険才入才出予算

議第一八号 昭和四三年松代町特別会計建設機械施設事業才入才出予算

議第一九号 昭和四三年松代町特別会計簡易水道事業才入才出予算

議第二〇号 昭和四三年松代町特別会計農業共済事業才入才出予算

歳入歳出予算事項別明細書 図表1

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	予算総額比
1. 市町村税	33,304千円	29,814千円	3,490千円	9.0%
2. 地方交付税	142,900	111,250	31,650	38.6
3. 分担金及負担金	17,390	7,172	10,218	4.7
4. 使用料及手数料	1,098	785	313	0.3
5. 国庫支出金	32,571	10,679	21,892	8.8
6. 県支支出金	35,725	4,014	31,711	9.6
7. 財産収入	2,188	878	1,310	0.6
8. 寄附金収入	23,047	3,721	19,326	6.2
9. 繰越収入	13,883	15,000	△ 1,117	3.8
10. 繰越収入	2,596	2,454	142	0.7
11. 繰越収入	26,598	10,790	15,808	7.2
12. 町債	38,700	12,700	26,000	10.5
歳入合計	370,000	209,257	160,743	100.0
款	本年度予算額	前年度予算額	比較	予算総額比
1. 議会費	7,091千円	6,769千円	322千円	1.9%
2. 民生衛生費	46,097	48,480	△ 2,383	12.4
3. 衛生費	16,941	11,971	4,970	4.6
4. 労働費	8,053	4,919	3,134	2.2
5. 農林業費	5,421	5,323	98	1.5
6. 農林業費	61,094	24,259	36,835	16.5
7. 土木防衛費	379	329	50	0.1
8. 土木防衛費	56,568	35,616	20,952	15.3
9. 教育費	11,748	7,787	3,961	3.2
10. 教育費	128,327	41,068	87,259	34.7
11. 災害復旧費	8,276	8,264	12	2.2
12. 災害復旧費	16,905	14,172	2,733	4.6
13. 公債費	3,100	300	2,800	0.8
歳出合計	370,000	209,257	160,743	100.0

昭和四十三年度当初予算が議決

一般会計総額は三億七千万円

かねて提出されていた昭和四十三年度一般会計才入才出予算が三月六日よりの町議会において慎重審議され、原案通り通過いたしました。この予算は一般会計予算総額三億七〇〇〇万円となり、これは昨年度の二億〇九二五万円より一億六〇〇〇万円の増となっております。今年度は重点を産業の振興建設事業の促進、教育施設の充実消防施設の充実、生活環境の整備におき、本当の意味での行政をおし進めようとすることを示していると考えられます。尚事業別予算及びその重点事項は次の通りです

一般会計予算と主な施行事業経費と負担金

- ① 議会費は七〇九万円
- ② 総務費は四六〇九万円
これは前年度に比べ二三八万円の減となっており、一般管理費一六四一万円、財産管理費として一九七万円、諸費として松代高校の屋体増築費寄付金一五〇万円、松代病院医師研究費九六万円、松代高校育英事業奨学金一〇二〇万円、選挙費一〇三万円が主なるものです。
- ③ 民生費は一六九四万円
保育所費が松代保育所一五六万円、へき地保育所二五二万円、季節保育所費五三万円と蒲生僻地保育所建築費二七三万円、又国民年金事務費三九万円などが主なるものです。
- ④ 衛生費は八〇五万円
し尿処理事業を十日町市へ委託することにし、既施設事業費に対する寄附金として二七〇万円(約五%)、経営費の委託費三〇万円を計上、環境衛生費七二万円、予防費二二七万円が主なるものです。
- ⑤ 労働費は五四一万円
失業対策費の九六万円、採取砂利加工料等に三四五万円が主なるものです。
- ⑥ 農林業費は六一〇九万円
農業構造改善事業費として三〇六九万円(東山桑園四五反歩、蒲生農道、蓬平・孟地桑園造成

- ⑦ 商工費は三七七万円
町商工会の補助費です。
- ⑧ 土木費は五六五七万円
公営住宅管理費一四七万円、片桐山・滝沢間の道路改修他が一七四九万円、その他橋梁の新設、改良など八〇〇万円、町新道一二線改修費一三三〇万円、などが主なるものです。
- ⑨ 消防費は一七四万円
消防費は一七四万円、消防ポンプ自動車一台、小型

- ⑩ 教育費は一二、八三三万円
動力ポンプ二台、防火水槽一〇ヶ所に対する助成金)
- ⑪ 災害復旧費は八二七万円
町単独土木災害復旧費が六五六万円、農林施設災害として一六一万円が主なるものです。
- ⑫ 公債費は一六九〇万円
これは償元金償還金が主なるものです。
- ⑬ 予備費は三七七万円

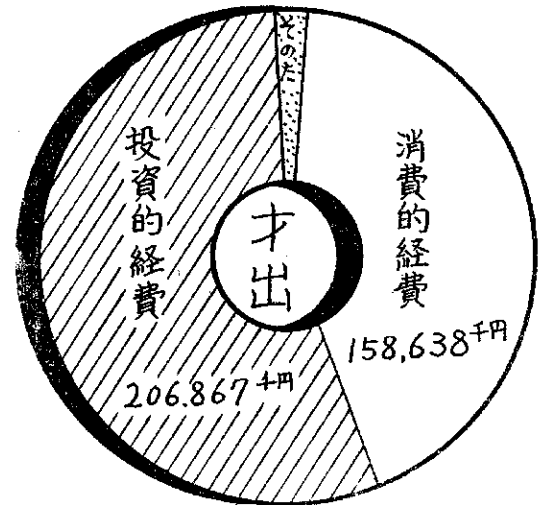
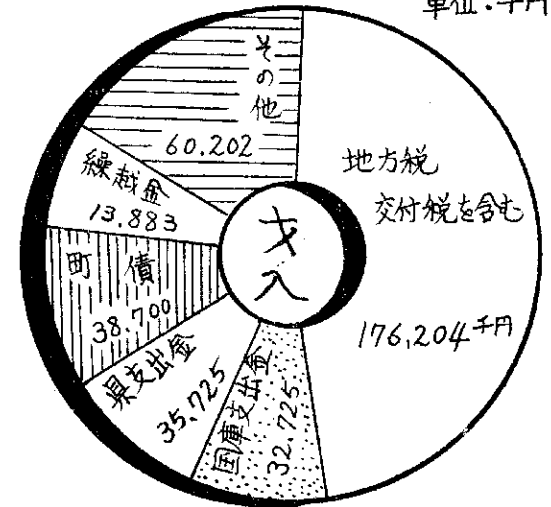
昭和43年度予算才入才出款別図表

単位：千円

その他	5,882	支入
繰越金	13,883	
分担金及負担金	17,390	
寄附金	23,047	
繰入金	26,598	
国庫支出金	32,571	
市町村税	33,304	
県支出金	35,725	
町債	38,700	
地方交付税	142,900	
教育費	128,327	支出
農林業費	61,094	
土木費	56,568	
総務費	46,097	
民生費	16,941	
公債費	16,905	
消防費	11,748	
衛生費	8,053	
災害復旧費	8,264	
その他	15,991	

昭和43年度性質別予算比較

単位：千円



部落公民館めぐり

【小荒戸部落公民館の巻】

部落民の大きな願いのもとに建てられた、この部落公民館は、部落の中央の高台にあり、戸数三十七戸の人々の心のよりどころとなっている。かつて皆んなの集りの場所もなかったこの部落では、婦人学級活動、老人クラブの学習活動の活発化にともない、是非建物が欲しいと考え、又部落全体の寄合の場合にもと、昭和三十八年新しく現在の建物を建設、すべての会合に使用すべく内部設計がたてられました。階下は調理室と談話室、二階は大広間と物置という様になっており、大広間は五十名位の集合には適したものになっています。又階下の談話室は小さな会議などにも使用され特に冬期間のグループ学習や婦人学級の学習などには多く使用されています。この部落の公民館活動は、後継者たる青少年の数がきわめて少なく、その活発な活動は、のぞむべくもなく、主として婦人学級、老人クラブの学習に力を注いでいることです。

婦人学級の活動は年をおうごとに活発になり、年間約九十時間の学習を行い、直接生活に結びついた課題を取上げ、その効果をあげています。又老人クラブも月一回以上の会合をもち、或る世話人に聞きますと、次回の集いを催促さ

れる程だそうです。

昨年度部落入口の橋をかけかえる様決議し、道路の確保を図り、来るべき時代への進展のかけ橋とするなど、部落行政とあいまって人的資源もゆるがせにしない体制を作るべく努力しています。

また、松代に近い関係から、とかく大部落依存の考え方になりがちなのを、部落建設という考え方に変えて、巾ひろい活動を計画されているとのこと。

郵便のスピードアップに

郵便番号制を採用

7月1日から

郵政省は、七月一日から全国にわたって「郵便番号制」を採用することになりました。

郵便番号とは、全国の配達局の受持区域につけられた番号で、これをあて名や発信人の住所氏名とくっしよに郵便物に書いていただき、区分け作業を機械化、能率化して、郵便のスピードアップを図ろうとするものです。欧米諸国では、数年前から実施して、大きな効果をあげています。

番号には地域によって三ケタと五ケタの二種類があり、五ケタの場合は、下二ケタを子番号とい

ます。同じ市町村でも、配達局が何局かある場合は、地域によって番号も違ってきますから、ご注意ください。

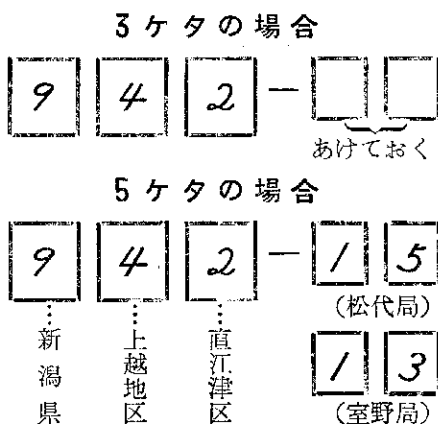
当町の郵便番号は次の通りです。

松代局 九四二—一五
室野局 九四二—一三

今後、郵便をお出しになるときは、ご自分の住所にこの郵便番号を「郵便番号九四二—一五」のように書きそえて下さい。

▲ハガキと封筒に記入ワク▼
六月一日以後に売り出される官製ハガキ、現金書留封筒などには表面の右肩に郵便番号を記入する赤色のワクが刷りこまれることになっていきます。私製ハガキ、絵ハガキ、封筒などにも、このワクを印刷するよう、製造業者に協力を願っています。

番号の記入方法
ワクへの記入は次のようになります



ワクが印刷してないハガキ、封筒、帯紙を使う場合や、小包にもこれにならって郵便番号をお書きください。

長寿を

祝つて



明治百年といわれる今年ですが例年により町内の長寿者番付をお送りいたしました。

松代町の場合、最高年令者は明治五年生れの中子部落、齊木キノさん(山の根)の九六才、明治六年生れの太平部落柳トメさん(大下)の九五才です。長寿の方々には八八才以上が三二名(内男八名)となっております。

約一世紀にわたって世の中いろいろを見てき、実際に数々の体験をされた、皆様からお目出度うを申し上げます。

歩んでこられた思い出の数々を語っていただきましたので掲載いたします。

中子

齊木キノさん(山の根)

① 健康法は?

これと違って変わったことはな

生れてから墓場まで、これは我々の宿命であり人生であります。この人生の中に長さ短かさがあります。

最近における医学の進歩と食生活の進歩によって人生僅か五十年の時代は過ぎ去って、人生六十年の現代であります。

然し八十才以上の長寿を保つてとは、言い易く行いがたいもので

ありますが、皆さんは八十年以上の高命をお迎え遊ばされたことは誠に慶賀に堪えません。

八十才以上の人の道を生きぬかれて参りました皆さんは、今一度過去をふりかえってみて下さい。身近かな衣・食・住をはじめ、農作業一つを考えても耕耘機による

長寿を祝つて

松代町長

柳

幡

歳

記念行事も行なわれます。

修証義のお経の中に「造悪の者は墮(お)ち、修善の者は陞(の)ぼる、毫(ご)うりもたがはざるなり」と申しております。小人閑居して不善をなすことなく日々の行常受語をもって、楽しい余生をお暮し下さいますようお願いいたします。

② 今の世の中をどうお考えですか?
本年は明治百年といわれているが、世の中は大変な変わり方をしている。特に嫁にきた頃は、ロソクやランプの明りで生活した訳だが、電気製品の発達で生活様式もすっかり変わった事が一番目立ちます。また衣類や食物もむかしとだいぶ変わり、ありがたい世の中がきたと思っております。

③ いつも何をしておられますか?
田打ち、田かきなど非常に住みよ時代となり、ありがたいときが参りました。まだまだ世の中は発展します。日常生活を楽しみながら、百才の長寿をお迎え下さいますよう祈念いたします。

皆さんは明治に生れ、人生の大半を明治時代にお働きになられた方々で今年には明治百年祭を迎え、

太平

柳トメさん(大下)



【写真は 大平 柳トメさん】

たまにですが「雑きん」を縫う時もありますが、寒いのはほとんど何もしていません。

① 健康法は?

前歯が二、三本かけたが、その他は大変丈夫で毎日テレビを見るのが楽しみだと語っておられた柳さん、ことに相撲が大好きで、十五日間のテレビが楽しみと笑顔一ぱいに答えてくれました。その他のことをお聞きしますと

② 昔のことなどを語ってもらえませんか?
別これといった思い出も無いがランプで過したむかしが、時にはなつかしいこともあり、ランプのない家もあり、油の中に燈スミを入れて玄関におき、人が来るとそれをつけ、すぐに火を消す様な家さえありました。

又この戦争のとき、銅銭を五合マスに一ぱい献金し、表彰をうけたこともありました。

とにかく長生きをしているといろいろなことがありましたがこうやって元気で過してくとみんな夢のような気がします。